

「食の安全・安心」についてのアンケート結果

県民の皆さんが食の安全・安心に関して、日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の県政（滋賀県食の安全・安心推進計画や滋賀県食品衛生監視指導計画など）に反映するため、アンケート調査を実施しました。

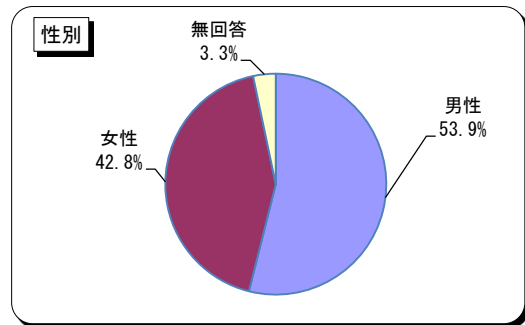
なお、このアンケートは、県民の皆様の意識の推移も参考とさせていただいておりますので、平成17年度より継続して実施しています。

- ★ 実施時期：令和3年6月
- ★ 対象者：県政モニター 298人
- ★ 回答数：243人（回収率：81.5%）
- ★ 担当課：健康医療福祉部生活衛生課食の安全推進室
（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

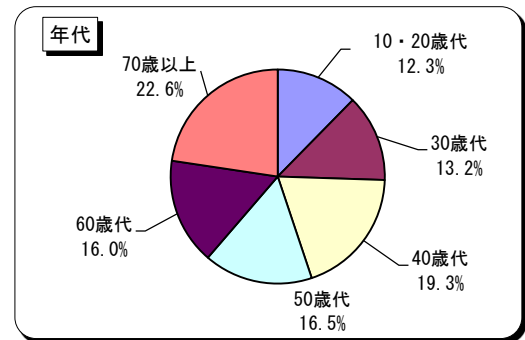
◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	131	53.9%
女性	104	42.8%
無回答	8	3.3%
合計	243	100.0%



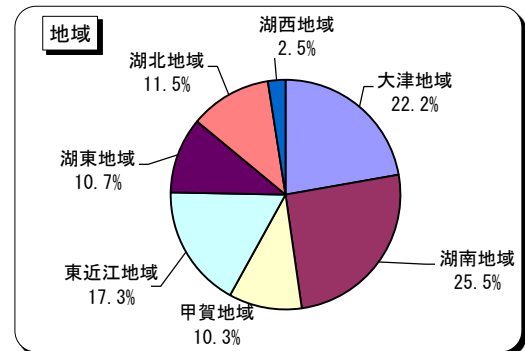
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	30	12.3%
30歳代	32	13.2%
40歳代	47	19.3%
50歳代	40	16.5%
60歳代	39	16.0%
70歳以上	55	22.6%
合計	243	100.0%



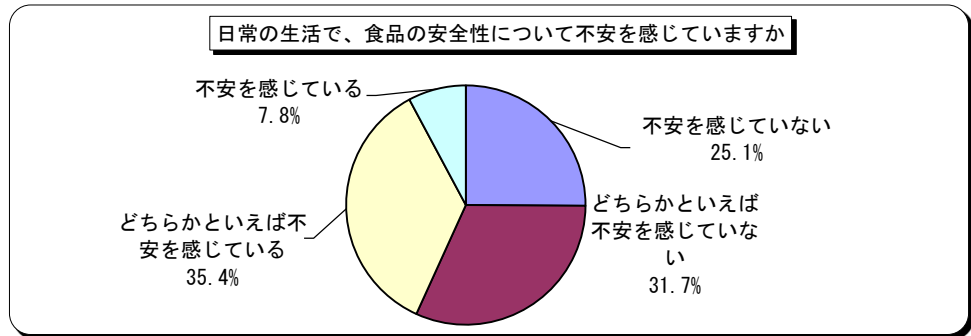
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	54	22.2%
湖南地域	62	25.5%
甲賀地域	25	10.3%
東近江地域	42	17.3%
湖東地域	26	10.7%
湖北地域	28	11.5%
湖西地域	6	2.5%
合計	243	100.0%



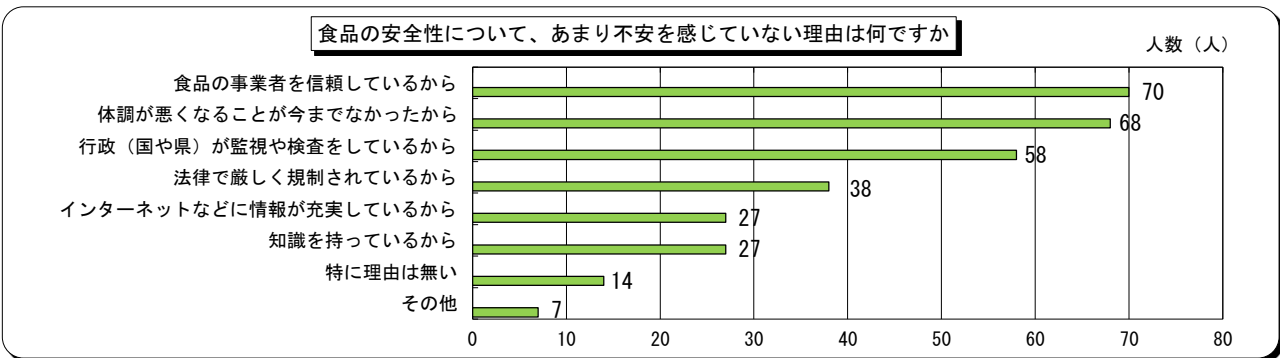
問1 日常生活で、食品の安全性について不安を感じていますか。(回答チェックは1つだけ。n=243)

項目	人数(人)	割合
不安を感じていない	61	25.1%
どちらかといえば不安を感じていない	77	31.7%
どちらかといえば不安を感じている	86	35.4%
不安を感じている	19	7.8%
合計	243	100.0%



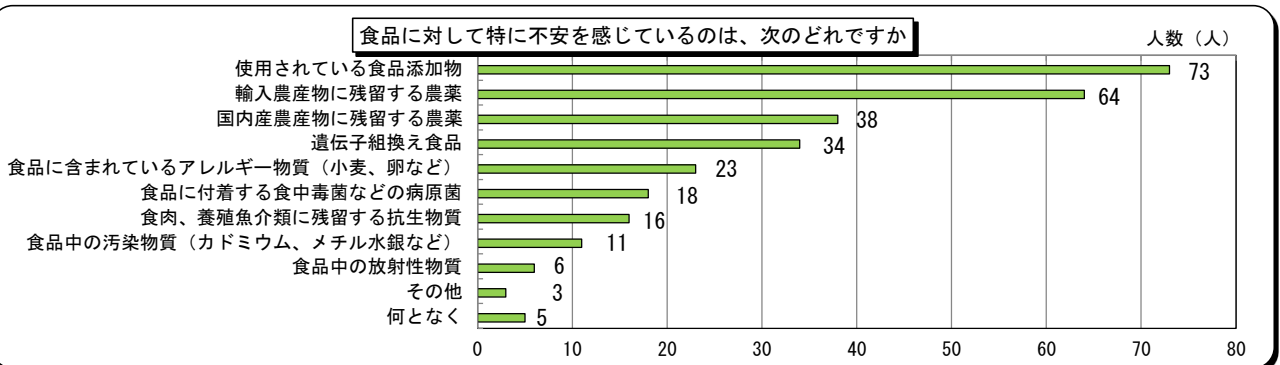
【問1で「1. 不安を感じていない」または「2. どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方におたずねします。】
問2 食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも。n=138)

項目	人数(人)	割合
食品の事業者を信頼しているから	70	50.7%
体調が悪くなることが今までなかったから	68	49.3%
行政(国や県)が監視や検査をしているから	58	42.0%
法律で厳しく規制されているから	38	27.5%
インターネットなどに情報が充実しているから	27	19.6%
知識を持っているから	27	19.6%
特に理由は無い	14	10.1%
その他	7	5.1%



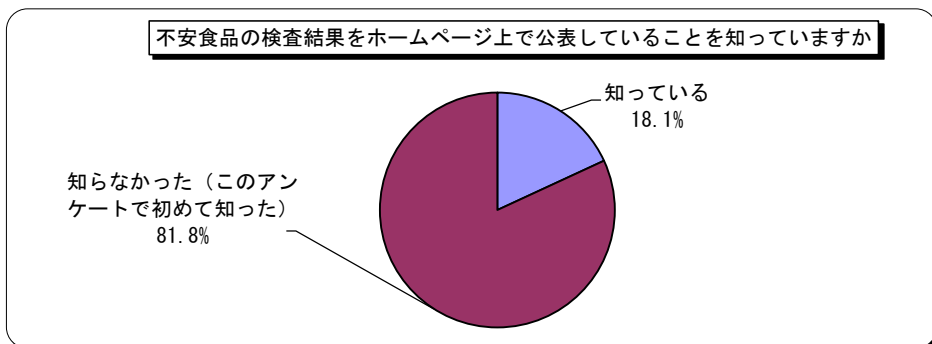
【問1で「3. どちらかといえば不安を感じている」または「4. 不安を感じている」と回答された方におたずねします。】
問3 食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか。(回答チェックは3つまで。n=105)

項目	人数(人)	割合
使用されている食品添加物	73	69.5%
輸入農産物に残留する農薬	64	61.0%
国内産農産物に残留する農薬	38	36.2%
遺伝子組換え食品	34	32.4%
食品に含まれているアレルギー物質(小麦、卵など)	23	21.9%
食品に付着する食中毒菌などの病原菌	18	17.1%
食肉、養殖魚介類に残留する抗生物質	16	15.2%
食品中の汚染物質(カドミウム、メチル水銀など)	11	10.5%
食品中の放射性物質	6	5.7%
その他	3	2.9%
何となく	5	4.8%



問4 滋賀県では、平成26年度から県政モニターアンケート結果を参考に、「不安を感じている」と回答された割合の高い食品を選んで検査を実施し、令和2年度に実施した結果についてはホームページ上に公表しています。このことを知っていますか。
(回答チェックは1つだけ。n=243)

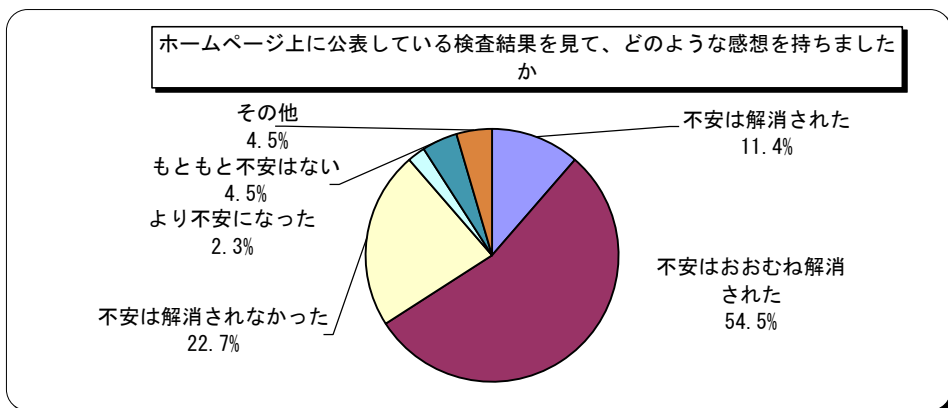
項目	人数(人)	割合
知っている	44	18.1%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	199	81.9%
合計	243	100.0%



【問4で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。】

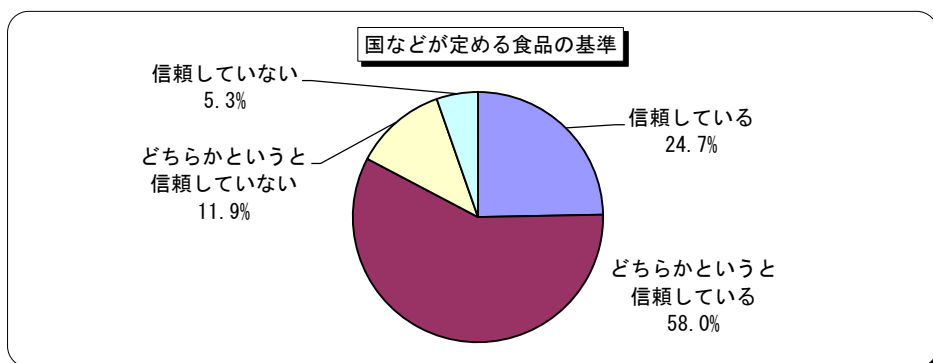
問5 ホームページ上に公表している食品の検査結果を御覧になって、どのような感想を持ちましたか。(回答チェックは1つだけ。n=44)

項目	人数(人)	割合
不安は解消された	5	11.4%
不安はおおむね解消された	24	54.5%
不安は解消されなかった	10	22.7%
より不安になった	1	2.3%
もともと不安はない	2	4.5%
その他	2	4.5%
合計	44	100.0%



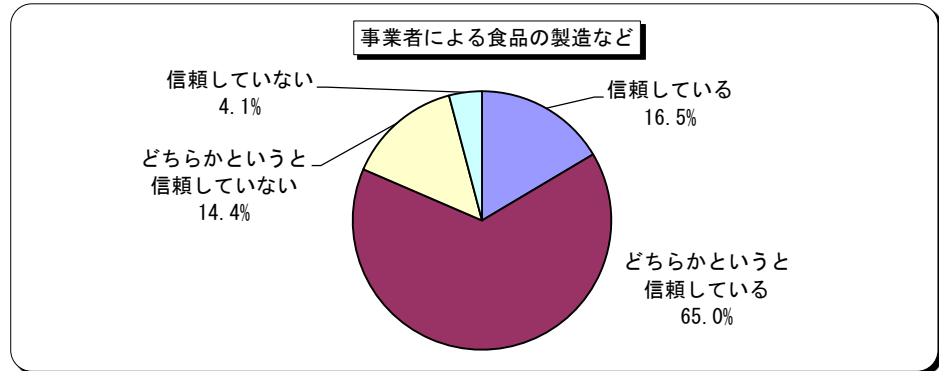
問6 食品にたずさわる関係者等に対する信頼感についておたずねします。(回答チェックは各1つ。n=243)
(1)国などが定める食品の基準(食品添加物の使用基準など)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	60	24.7%
どちらかという信頼している	141	58.0%
どちらかという信頼していない	29	11.9%
信頼していない	13	5.3%
合計	243	100.0%



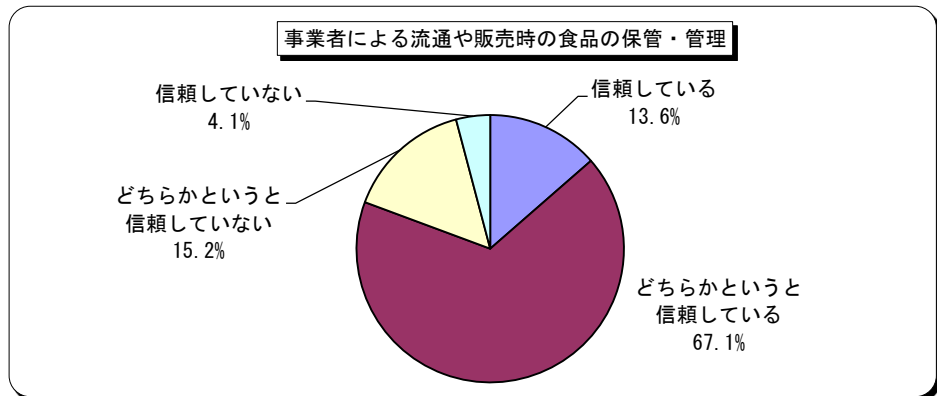
(2) 事業者による食品の製造などが適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	40	16.5%
どちらかという信頼している	158	65.0%
どちらかという信頼していない	35	14.4%
信頼していない	10	4.1%
合計	243	100.0%



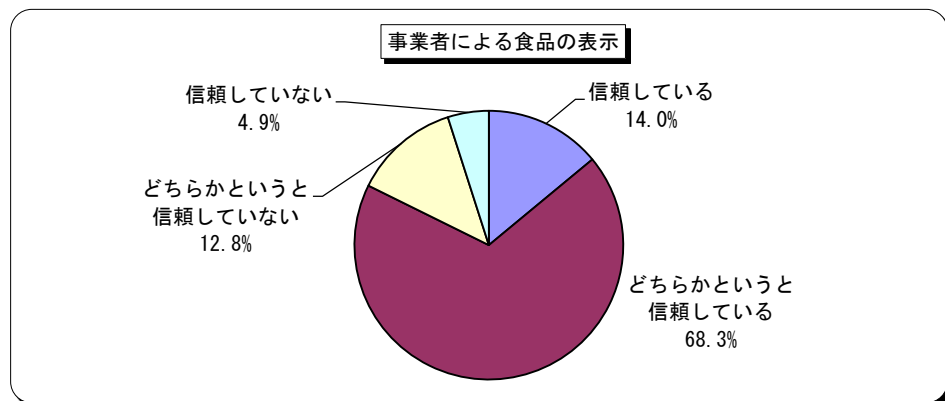
(3) 事業者による流通や販売時の食品の保管・管理が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	33	13.6%
どちらかという信頼している	163	67.1%
どちらかという信頼していない	37	15.2%
信頼していない	10	4.1%
合計	243	100.0%



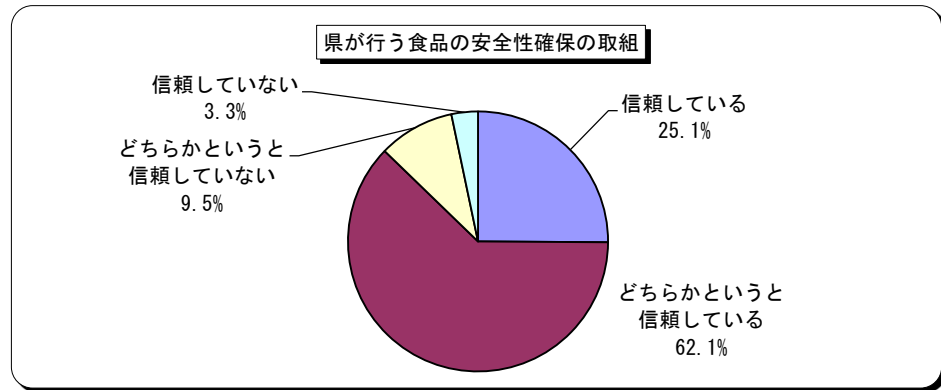
(4) 事業者による食品の表示が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	34	14.0%
どちらかという信頼している	166	68.3%
どちらかという信頼していない	31	12.8%
信頼していない	12	4.9%
合計	243	100.0%



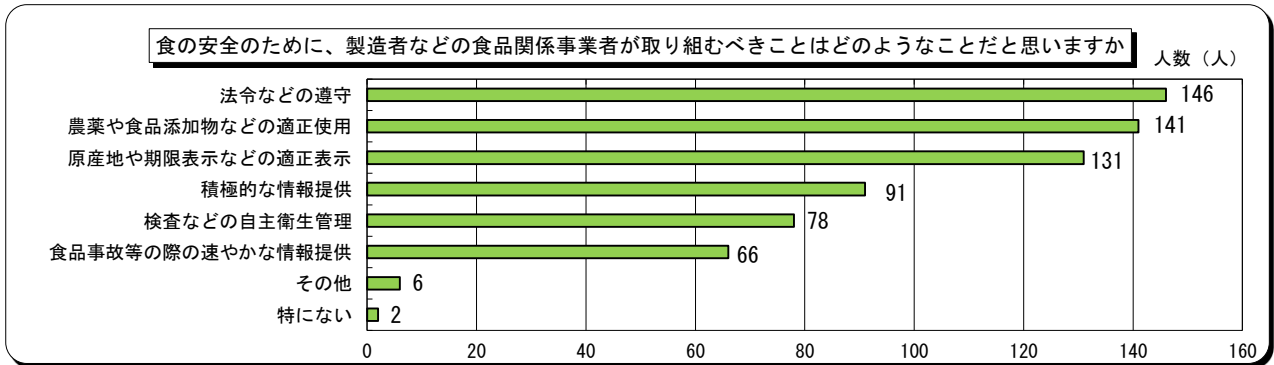
(5) 県が行う食品の安全性確保の取組（飲食店などの立入検査や食品の検査等）について

項目	人数(人)	割合
信頼している	61	25.1%
どちらかという信頼している	151	62.1%
どちらかという信頼していない	23	9.5%
信頼していない	8	3.3%
合計	243	100.0%



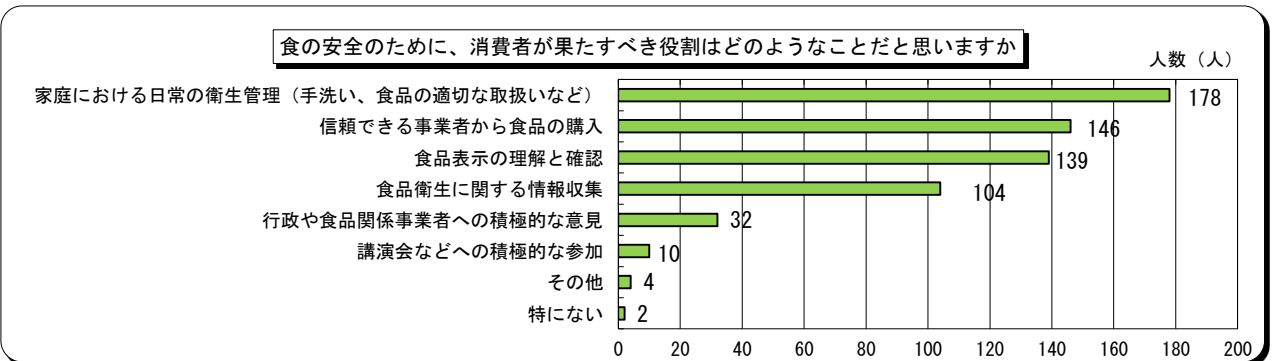
問7 食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。
(回答チェックは3つまで。n=243)

項目	人数(人)	割合
法令などの遵守	146	60.1%
農薬や食品添加物などの適正使用	141	58.0%
原産地や期限表示などの適正表示	131	53.9%
積極的な情報提供	91	37.4%
検査などの自主衛生管理	78	32.1%
食品事故等の際の速やかな情報提供	66	27.2%
その他	6	2.5%
特になし	2	0.8%



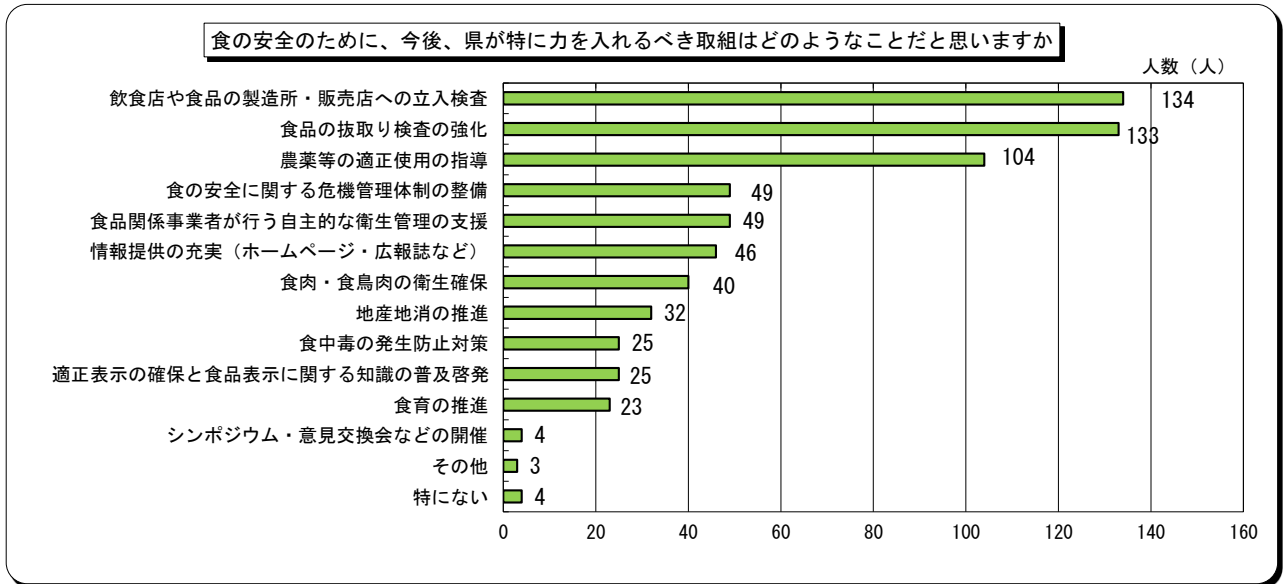
問8 食の安全のために、消費者が果たすべき役割はどのようなことだと思いますか。(回答チェックは3つまで。n=243)

項目	人数(人)	割合
家庭における日常の衛生管理(手洗い、食品の適切な取扱いなど)	178	73.3%
信頼できる事業者から食品の購入	146	60.1%
食品表示の理解と確認	139	57.2%
食品衛生に関する情報収集	104	42.8%
行政や食品関係事業者への積極的な意見	32	13.2%
講演会などへの積極的な参加	10	4.1%
その他	4	1.6%
特になし	2	0.8%



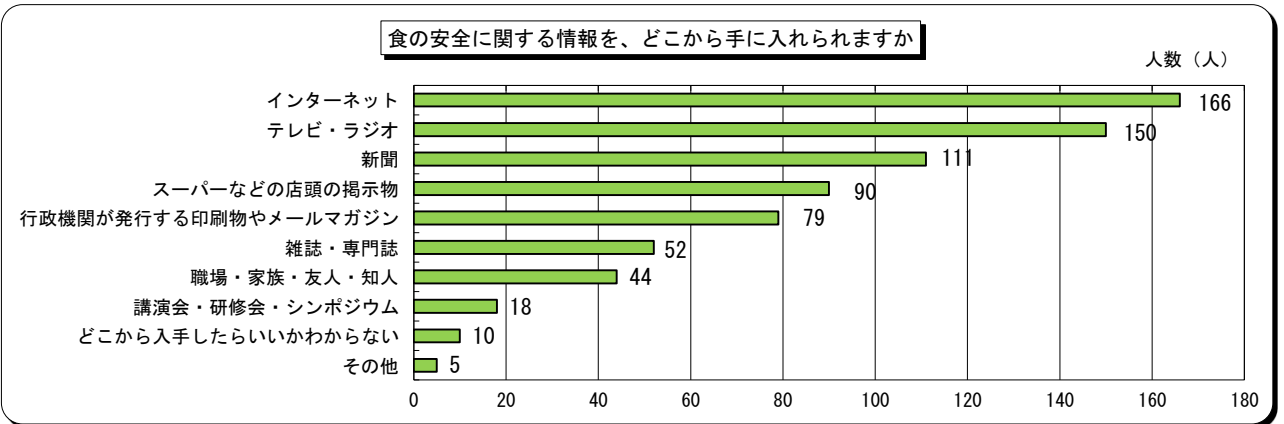
問9 食の安全のために、今後、県が特に力を入れるべき取組はどのようなことだと思いますか。（回答チェックは3つまで。n=243）

項目	人数(人)	割合
飲食店や食品の製造所・販売店への立入検査	134	55.1%
食品の抜き取り検査の強化	133	54.7%
農薬等の適正使用の指導	104	42.8%
食の安全に関する危機管理体制の整備	49	20.2%
食品関係事業者が行う自主的な衛生管理の支援	49	20.2%
情報提供の充実(ホームページ・広報誌など)	46	18.9%
食肉・食鳥肉の衛生確保	40	16.5%
地産地消の推進	32	13.2%
食中毒の発生防止対策	25	10.3%
適正表示の確保と食品表示に関する知識の普及啓発	25	10.3%
食育の推進	23	9.5%
シンポジウム・意見交換会などの開催	4	1.6%
その他	3	1.2%
特になし	4	1.6%



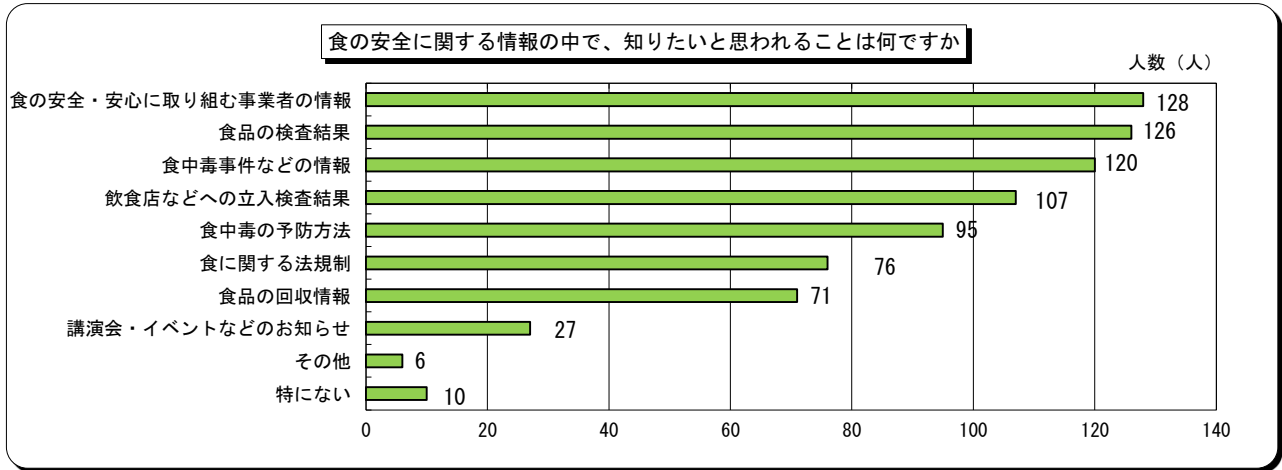
問10 食の安全に関する情報を、どこから手に入られますか。（回答チェックはいくつでも。n=243）

項目	人数(人)	割合
インターネット	166	68.3%
テレビ・ラジオ	150	61.7%
新聞	111	45.7%
スーパーなどの店頭の掲示物	90	37.0%
行政機関が発行する印刷物やメールマガジン	79	32.5%
雑誌・専門誌	52	21.4%
職場・家族・友人・知人	44	18.1%
講演会・研修会・シンポジウム	18	7.4%
どこから入手したらいいかわからない	10	4.1%
その他	5	2.1%



問11 食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか。（回答チェックはいくつでも。n=243）

項目	人数（人）	割合
食の安全・安心に取り組む事業者の情報	128	52.7%
食品の検査結果	126	51.9%
食中毒事件などの情報	120	49.4%
飲食店などへの立入検査結果	107	44.0%
食中毒の予防方法	95	39.1%
食に関する法規制	76	31.3%
食品の回収情報	71	29.2%
講演会・イベントなどのお知らせ	27	11.1%
その他	6	2.5%
特になし	10	4.1%



問12 あなたが、食の安全について、日頃感じていることを自由に記入してください。

【主な意見】

- ・食の安全・安心を考えると共に、食品ロスについても考えていかなければならないと思います。野菜や魚、お肉などが少量でも買えたり、惣菜の少量パックがあったりすると食品ロスにつながると思います。(スーパーさんなどもいろいろと工夫されていると思います。)
- ・消費者は食品の生産者を信頼して購入するしかありません。行政で指導管理して頂くしかないと思います。
- ・食の安全は多くの方の関心事であり、また、関心のない方には関心を持ってもらうべき内容だと思う。普段は考えないような流通ルート、生産現場の環境なども情報を目にする機会が振れば、消費者も生産者も安全意識が高まる。教育機関だけでなく、販売店などでも必要な情報開示を行い、県民も食への安心意識を高めることで、食品自体の安全性も保たれると考える。
- ・食は人が生きていくための基本であり、子供たちの成長に大きな影響を与えるものなので、大変重要である。また成人、高齢者の疾病予防にも関係するので私達も常に留意が必要であり、行政による正しい啓発も必要であると考えます。
- ・食は、私たちが生きていくうえで、欠かせない関心事です。このアンケート「食の安全性」については、消費者が関心を持ち続けることが大事だと感じました。国や県にお任せではなく、自ら情報を得て考える努力をしなければならないと思います。今後もメディアや広報紙などを通じて、情報発信をよろしくお願いいたします。
- ・項目の中の生産者・販売者などへの信頼があるか？の問いに対して2のどちらかと言えば信頼しているに回答しましたが、ある程度信頼しないと何も口にできなくなりそうなので、出来るだけ食品に対してはおおらかでいようと思っているのが本音です。特に輸入品は疑いだしたらキリがないので、できるだけ国内産、できる限り県内産の食品を選択しようと思っています。今回のアンケートで、県が検査をしっかり行ってくださってることがわかり、少し安心しました。これからもよろしくお願いいたします。
- ・安心安全な食品を購入できるよう、環境作りを県にお願いいたします。
- ・当たり障りのないようなアンケート結果になりましたが、これで良いのか？食中毒に関する設問がもっと欲しかった。事例、対処、予防など例を上げどこまで知ってるかの調査もあってよいのでは。
- ・衣食住とあるように、“食”は生活する上で非常に重要なことであるから、アンケートとしては良いと思う。
- ・最近の国内情勢では家庭内食生活が多くなっているわけで、食に関する関心は高くなっております。それだけに国産、輸入品安全、安心が求められます。
- ・「食の安全」というテーマは、食べ物の生産から消費までの流れのみならず、これらを取り巻く環境、保管、流通等、非常に広範囲の要因が関わっているものであり、本アンケートの間1から11で捉えるのは、難しいものだと思います。もう少しテーマを絞られたらどうですかね。
- ・食の安全は大切であるがその前に毎日生きていけるだけの食事が摂れていない人間も存在している事は県としてどう思っているか。もんだいは散積。一度食べる物が乏しかった時代に思いを馳せなければと感じる。むずかしい。
- ・食の安全に対して100%疑問を持っていない国民はいないと思います。これを機に行政は食の安全に万全を期して欲しいです。
- ・1、普段何気なく買い物していることに気がつきました。
2、そういえば、なんで腐らないんだろう、なんでカビないんだろう、なんで種がないんだろうとほのかに思いますが、まあいいやと思って食しています。
3、今回提示していただいた抜き打ち検査の結果をメディアに公表し、なんで？という問いかけを深めて食の安全を私たちが気づく必要があると思いました。ありがとうございました。
- ・食の問題は大切であるので行政は常時情報を発信して欲しい。
- ・売られている物は基本安全、安心と思い購入していますが、このコロナ禍で生産者さんに変わりないことを願っています。
- ・普段あまり気にしていないので、今回のアンケートで、啓発されました。今後、情報を無視するようなことがない様に気を付けます。
- ・食品は何かにかかわって食べ続けられない方が良くと思う。何かを完全に信頼しない！ 大まかに信頼してもミスで事故はある、なるべく多くの情報の中から自分で判断すべきだと思う。行政から禁止と言われたものは従って、それ以外は常に確認して、疑ってみるくらいの気持ちでいればいい
- ・地産地消、自給自足の推進をお願いします。
- ・残留農薬は気になる。肥料や土にも気を付けて野菜作りに励みたい。
- ・食の安全は人間が健康で生きてゆくための根幹になるもので、幾重もの注意が必要とされる。
- ・これから食中毒の危険性が高まってきます、食の安全、安心はコロナ禍の今、最も気を付ける要素かなとも思います。外出もできない、リモートでの仕事、文化芸術も楽しめない、せめて食だけは安全であって欲しいと思います。
- ・一般消費者は生産者の苦勞を知らない。生産者が食の安全に取り組んでいる内容に視点を向けることも必要では？
- ・地産地消の観点からも琵琶湖を守るための良いアンケートでした。
- ・今後もこのようなアンケートテーマを継続的に行ってもらいたい。行政、事業者、消費者の三者の積極的な交流を図る必要を感じます。
- ・農業政策について。我が国の食料自給率は50%にするべき。まずは地産地消の推進！序でに食育の推進、フードロスの改善も必要だと思います。